

“心のふれあい広場”納涼盆踊り



【中小田井学区】

■世帯数：4,875 世帯

■人 口：11,244 人

■面 積：2.060km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 毎年 8 月第 1 土曜日曜の 2 日間、中小田井公園児童グラウンドにて“心のふれあい広場”納涼盆踊り」を開催。延べ約 2,500～3,000 人が参加する。
- ・ 盆踊りのほか、模擬店や抽選会なども行っている。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、学区発行の「なかおたいたより」に掲載

【アピールポイント】

学区住民全員が参加することを目標にしている。また、役割分担は各種団体委員や町内会組長等、広く担当してもらっている。

2 きっかけ、背景

平成 12 年 9 月に東海豪雨を経験し、住民同士の助け合いの原点は日頃からの近隣のふれあいが必要であることを痛感。盆踊り大会は、災害以前から実施していたが、特定団体の事業から学区全体の事業として実施している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、保健委員、消防
団員、PTA、女性団体・女性会、子
ども会、老人クラブ、スポーツ推進
委員、少年補導委員・保護司

計約 150 人

(2) 運営協力

学区連絡協議会を中心に、各種団
体の長と町内会長はいずれかの責任
者をお願いしている。

4 実施のスケジュール

毎年5月7日 第1回納涼盆踊り実行委員会



6月第3週 第2回納涼盆踊り実行委員会



7月中旬 第3回納涼盆踊り役割分担責
任者会議



盆踊り練習日 7月7日、14日、21日
8月3日



8月第1週の 午前中 会場設営
土・日曜日 午前6時～9時 盆踊り開催



8月第3週 反省会

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 年々、来場者が増えており、住民間の交流が深まっている。
- ・ 役員の仕事として定着し、担い手が増加している。

(2) 苦労した点

- ・ 全体の企画運営を自治会役員（9名）が担当。毎年、半数が交代するため、特定の役員に負担が集中してしまう。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 学区最大の事業と位置づけているが、後継者が育っていない。
- ・ 今後、地元企業との協賛事業に育てたい。

